

TELBOSE[®] TAKE5

取扱説明書



LET'S corporation

1. はじめに

この度は、TELBOSE TAKE5（以降、本装置と記述）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本装置は、1本の電話回線に電話機、FAX、モデム等を接続し、自動切替ができる装置です。本書と別紙の「ご使用上の注意」を良くお読みいただき、本装置の機能が十分発揮できますように正しくお取り扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。本書と別紙の「ご使用上の注意」は付属品と共に大切に保管して下さい。

注意事項

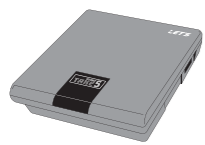
- 本装置および付属品の使用により生じた金銭上の損害逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切の責を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- 本装置および付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
- 本装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外的要因によって、通信、通話、録音等の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切の責を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- 本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

回線接続の前に

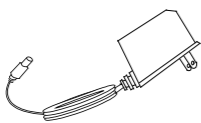
- 本装置は、財団法人電気通信端末機器審査協会の認定品です。
- 2線式の電話回線に使用することができます。4線式などの電話回線には接続できません。
- PBX、ボタン電話の内線に接続する場合、電気的仕様がNTTと同じかどうかを確認して下さい。仕様がNTTと異なると機能が正常に働かないことがあります。
- 仮着信方式を使用しておりますので、自動ベルモードでお使いの場合、先方は呼出中も課金されます。
- キャッチホンは接続できません。
- ピンク電話（硬貨収納信号送出サービス加入）回線に本装置の接続はできません。（販売店にお問い合わせ下さい）
- ナンバーディスプレイサービス回線にも接続できますが、ナンバーディスプレイ対応電話機が必要になります。また、接続されるナンバーディスプレイ対応電話機によっては、本装置・電話機などが正常に動作しない場合があります。なお、仕様上FAX受信の際も、電話機が数回鳴動することがあります。
- 接続される電話回線またはTAによっては、正常に動作しない場合があります。
- 留守番電話機は接続できますが、機種によっては正常に動作しない場合があります。
- Fネット1300Hz無鳴動サービスには使用できません。

2. 商品構成

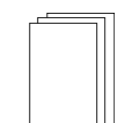
ご使用いただく前に、次の物が揃っているかを確認して下さい。万一、足りない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡下さい。



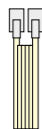
TELBOSE TAKE5 本体
1台



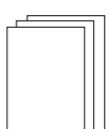
ACアダプタ
15V/400mA
センターマイナス
1個



ご使用上の注意
(保証書含む)
1部



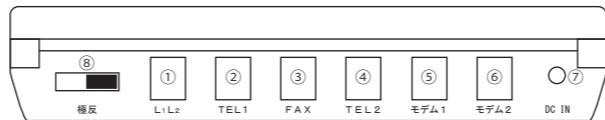
モジュラーコード
(コード長：2m)
1本



取扱説明書(本書)
1部

3. 各部名称

■背面図



■側面図(右)



■名称

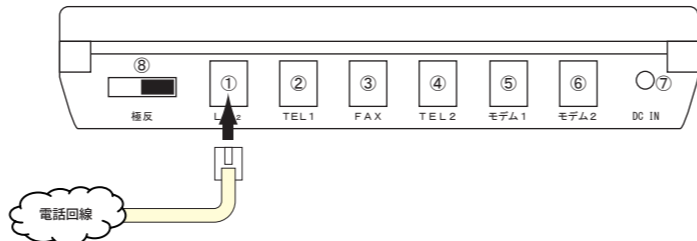
	名 称	はたらき
①	回線接続用モジュラー端子	回線と本装置を接続するコネクタ
②	電話機接続用モジュラー端子1	電話機、留守番電話機を接続するコネクタ
③	FAX接続用モジュラー端子	FAXを接続するコネクタ
④	電話機接続用モジュラー端子2	電話機、留守番電話機を接続するコネクタ
⑤	モデム接続用モジュラー端子1	モデムを接続するコネクタ
⑥	モデム接続用モジュラー端子2	モデムを接続するコネクタ
⑦	電源アダプタ接続用ジャック	付属のACアダプタを接続します
⑧	極性反転スイッチ	回線側の極性を入れ替え
⑨	10連ディップスイッチ	各種設定を行うスイッチ
⑩	リモートベルランプ	リモートモード設定時に緑点灯します
⑪	自動ベルランプ	自動ベルモード設定時に赤点灯します

⚠注意 10連ディップスイッチのカバーを開けるときは、⊖ドライバーなどを使用して下さい。怪我の原因となることがあります。

4. 接続方法

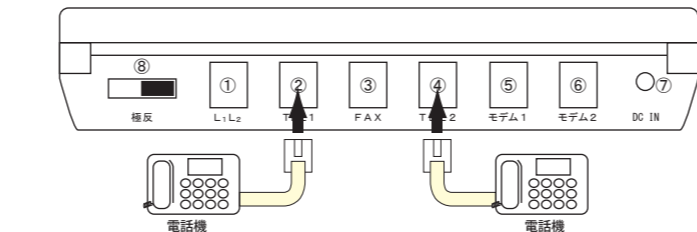
1. 回線との接続

電話回線からのコードを①[L1L2]に接続します。



2. 電話機、留守番電話機、ナンバーディスプレイ対応電話機などの接続

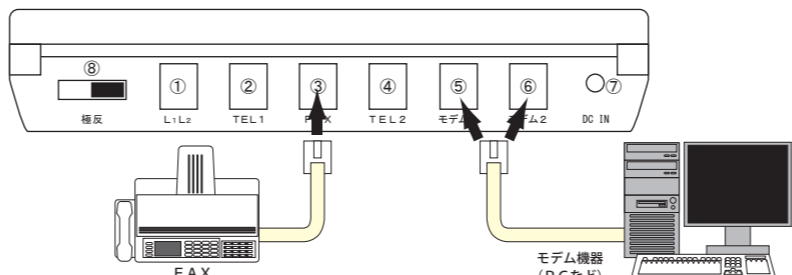
付属のモジュラーコードなどで、②[TEL1]または④[TEL2]に接続します。ナンバーディスプレイ対応電話機を接続する際は、後述の注意事項を参照して下さい。



※電話機を1台でご使用になる場合は②[TEL1]に接続して下さい。

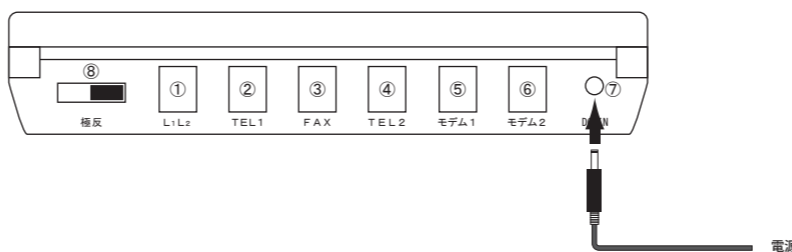
3. FAX、モデムなどの接続

付属のモジュラーコードなどで、FAXは③[FAX]に接続します。モデムは⑤[モデム1]または⑥[モデム2]に接続します。



4. ACアダプタとの接続

付属のACアダプタを使用し、⑦に差し込んで下さい。電源はAC100V、50/60Hz（一般家庭用電源）以外では使用しないで下さい。



ナンバーディスプレイ対応電話機を接続する際の注意事項

注意

- ① 本装置のディップスイッチ2を有り（下）にして、ナンバーディスプレイを有効にして下さい。（7. メインディップスイッチ機能一覧）を参照）
 - ② リモートモード/自動ベルモードのどちらでも使用できますが、接続される電話機によっては、正常に動作しない場合があります。
- ※②について、極反スイッチを左右に切替え、電源をOFF->ONすると正常に動作する場合もあります。

動作

- ① 着信があると、本装置が仮着信をする前にナンバーディスプレイ対応電話機が鳴動し、その後、本装置がリモートモード/自動ベルモードの動作をします。
FAX着信時、ナンバーディスプレイ対応電話機が2〜3回鳴動しますが、故障ではありません。
- ② ①以降の動作は通常のリモートモード/自動ベルモードと同じです。
- ③ 本機能を使用時には、自動モード切替を無し（ディップスイッチ8を無し（上））で使用して下さい。発信・着信ができなくなる場合があります。

その他接続での注意事項

1. 本装置に関する注意事項

- ・本装置は極性に指定はありませんが、接続する電話機/FAX/モデムは極性の指定がある機種があります。
- ・「外部ベル」をご使用のお客様はTEL端子に並列接続して下さい。
- ・本装置をPBX内線/専用線などに接続した場合に、発信側が電話の呼出中に切っても、本装置に接続した電話のベルが所定の回数鳴動する可能性がありますのでご注意下さい。

2. 電話機に関する注意事項

- ・電話機/留守番電話など、電話着信時に応答する端末をTEL端子に接続して下さい。
- ・ホームテレホン/ビジネスホン/交換機などを接続する場合、TEL端子から各装置の回線接続端子へ接続して下さい。

3. FAXに関する注意事項

- ・本装置からの配線は、FAX本体の回線接続端子（L1・L2、LINEなど）に接続して下さい。
- ・FAX本体は自動受信に設定して下さい。また、FAX本体の切替機能は解除して下さい。相手機種により正常に受信できなくなる可能性があります。
- ・FAX本体に発信機能が内蔵されていないときは、必ず発信用の電話機をFAX本体に接続して下さい。TEL端子に接続された電話機を発信用の電話機として使用する事はできません。
- ・FAX本体に電話が内蔵されたものであっても、電話着信時にこの電話機で応答できません。電話着信時の応答は、TEL端子に接続された電話機から行って下さい。
- ・ハンドセットが内蔵されていないFAX本体の場合、FAXモードを正常に運用できないことがあります。

4. モデムに関する注意事項

- ・本装置からの配線は、モデム本体の「LINE端子」に接続して下さい。
- ・通常は自動着信の設定で使用して下さい。ただし、FAXモードのときは手動着信に設定を変更してから使用して下さい。

停電の場合

- ・停電時（本装置に電力が供給されない状態）は、TEL端子のみ使用可能です。この場合、本装置が関与しない状態（電話・FAX着信のすべてがTEL端子に接続された電話機へ着信を行う）になります。停電時でも発信・着信を正常に行うため、必ず電話機はTEL端子へ接続して下さい。

5. 各モードの設定

自動ベルモード

概要

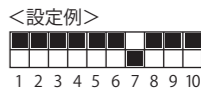
電話とFAXを自動的に切り替えます。着信すると本装置が自動応答し、FAX信号を検知するとFAXへ転送します。FAX信号がない場合は、電話機を呼び出します。

主な用途

- ・1つの回線で電話着信なら電話機へ、FAX着信ならFAX機へ自動的に切り替えたい

使用するためのディップスイッチ設定

モード切替（ディップスイッチ1） = 自動ベル（上）
CNG検知（ディップスイッチ3） = 有り（上）



ランプ状態

⑩自動ベルランプが赤色点灯します。

補足

- ※ディップスイッチの設定例は、初期設定値から自動ベルモードを使用した際の設定例となります。他の機能（ナンバーディスプレイ設定など）と併用した場合、ディップスイッチの設定値は変わります。
- ※ディップスイッチの詳細は、後述の【メインディップスイッチ機能一覧】を参照して下さい。
- ※留守などで電話に出られなかった場合でも、発信者側（電話を掛けた側）は課金されます。
- ※電話機の最大呼び出しベル回数は約15回（約4.5秒）です。約15回以内に応答がない場合は切断します。
- ※電話の呼び出しは、約2〜3回（約8秒）経過後に開始します。
- ※FAX・モデムの呼び出しは、検知した時点で開始します。
- ※電話・FAXともに、発信者側（電話を掛けた側）には、応答までリングバックトーン（疑似呼び出し音）を送出します。
- ※発信者側、受信者側の双方に本装置が設置してある時に、トーン送出（ディップスイッチ7）を有り（上）に設定することにより、電話番号をダイヤルするだけでモデムの自動切替も行えます。

裏面もごさいます。

